

国際部通信 第11号



10月は

「世界食糧デー」月間です。

発行：あさか開成高等学校

国際部

発行日：令和2年10月22日



～世界の食料問題と私たちに出来ること～

10月16日の世界食糧デーであることから、日本では2008年から「世界食糧デー」のある10月を「世界食糧デー」月間としています。飢餓や食料問題について考え、解決に向けて一緒に行動する1ヵ月にしましょう。

今、世界ではすべての人が十分に食べられるだけの食料は生産されていると言われているにもかかわらず、世界の人口の8.9%、11人に1人が慢性的な栄養不足と言われています。それでは、日本における食糧問題についてみてみましょう。

突然ですが、クイズです！

問1：日本の食料自給率はどのくらい？

- ①約20% ②約40% ③約50% ④100%

問2：家庭内の食品ロスで一番多い理由は？

- ①消費(賞味)期限切れ ②食べ物が傷んだ ③おいしくない ④食べ残し

問3：フードロスで問題になっていることは何？

- ①環境問題 ②資源の無駄遣い
③コストの問題 ④牛丼無料券の配布

問4：国民一人当たりの一日の食品ロス量はどのくらい？

- ①お茶碗約1杯分 ②お茶碗約2杯分 ③お茶碗約3杯分

問5：国内の食品ロス量は、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(平成30年で年間約390万トン)の何倍？

- ①0.5倍 ②ほぼ同じ ③約1.5～2倍 ④3倍以上



【クイズの答え】

問1：②約40%

日本の食料自給率はおよそ40%で、大半を輸入に頼っています。その一方で、食糧を大量に捨ててしまっているのが、日本の食の現状です。

問2：④食べ残し

④→②→①→③の順です。食べられるのに捨てられているのが家庭内食品ロスの問題です。

問3：①環境問題 ②資源の無駄遣い ③コストの問題

作るためだけでなく、廃棄するためにもエネルギーや資源、お金を無駄使いしています。その過程で温室効果ガスを排出し、地球を汚染してしまう事もあります。食糧輸入量が多い日本に暮らす私たちは、食料を捨てることは、海外の国のエネルギーや資源を無駄にしているということになります。

問4：①お茶碗約1杯分(もったいない！)

国連によれば世界人口の9分の1(8億人以上)が飢餓の状態にあるとされており、その約3分の2がアジア地域に集中しています。日本も同じアジアの国ですが、解決しなければいけない問題は真逆です。

問5：③約1.5～2倍

約400万トン。事業所からゴミとして出される食品(まだ食べられるお弁当など)の量に匹敵します、

食品ロスを減らすためにできることは？

- ・食べものをつくる生産者・製造者への感謝の気持ち持ちましょう
- ・自分たちの食卓に並ぶ食事が、海外の国々とつながっていることを意識しましょう。